

【OIE 情報】カナダにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について

カナダにおける牛海綿状脳症（BSE）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

なお、カナダから輸入される牛肉等については、食品安全委員会によるリスク評価結果を踏まえ、条件を設定しています。

出典：OIEウェブサイト（2015年2月18日付け）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=17205

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告）
- ・発生日：2015年2月4日
- ・OIEへの報告日：2015年2月18日

【発生状況】

- ・カナダ アルバータ州 エドモントン市の農場

【動物種】	【感受性動物数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛※		1	0	1	0

- ・雌牛と子牛の群であり、感受性動物の数は、同等のリスクを有する動物を示す（調査実施中）。

※動物衛生課注：カナダ食品検査庁（CFIA）の公表情報によると肉用雌牛（アングス種）

【疫学情報】

- ・感染源：不明または調査中
- ・2015年2月4日、民間獣医師がダウナー（歩行不能）牛の報告をした農家を訪問し、カナダのBSE国家サーベイランスプログラムの一環として、検体を採取。
- ・アルバータ州エドモントン市の州の研究所において実施された迅速検査では陰性を否定できず、本結果は2015年2月7日にCFIAに報告された。
- ・アルバータ州レスブリッジ市のCFIAのOIE BSEリファレンス研究所において、2015年2月11日に、定型BSEと確定。
- ・当該牛の死体は食品及び飼料チェーンには入っていない。
- ・現在実施中の調査により、当該牛の由来群及び当該牛が2009年3月生まれであることを特定。
- ・移動制限及び隔離は調査が終了するまで実施される。
- ・カナダでBSE症例が検出されたことは、カナダでの絞った強固なBSEサーベイランスプログラムが実施されていることが強調する。
- ・カナダは、全ての飼料チェーン及び肥料から特定危険部位を排除するといった厳格な管理を含む強化された飼料規制を継続している。

【対応】

- ・ 淘汰
- ・ 隔離
- ・ スクリーニング
- ・ 患畜を治療対象としない

【診断】

- ・ 診断施設：アルバータ州農務地方開発省（州立研究所）
- ・ 診断方法：抗原検出ELISA：陽性（2015年2月7日）
- ・ 診断施設：CFIA BSEリファレンス研究所（OIEリファレンス研究所）
- ・ 診断方法：抗原検出ELISA、迅速診断、ウェスタンブロット：陽性（2015年2月10日、11日）

【参考】 発生地図

